

歴史書 通信

9

2019 No. 245



近世日本における僧侶の教化
[芹口真結子]

歴史書新刊ニュース(7・8月)

歴史書以外の人文社会図書
新刊案内(7・8月)

歴史書懇話会
創立50周年記念事業報告
歴史書懇話会 代表幹事 [春山晃宏]

歴史系学会・シンポジウム
開催情報

歴史書懇話会

近世日本における 僧侶の教化

芹口 真結子

(千葉県文書館嘱託職員)

「近世（江戸時代）の仏教」という言葉を聞いたとき、どのようなイメージが思い浮かぶだろうか。以前は、近世仏教は幕藩体制のもとで寺檀制度や本末制度によって国家権力の人民支配の末端に置かれ、僧侶は生活を保障されるかわりに墮落して民心の離反を招くことになった、という説明がなされることが多かった。かかる見方により、長らく近世の仏教（及び宗教）への関心は低かった。

その後、幕藩権力の寺院行政自体の見直しや、修験道・陰陽道・神社などの諸信仰を含めた宗教者集団の編成などの解明が進められたことによって、宗教史研究は近世社会の特質を考える上で欠くことのできない要素である国家論・身分論との接合が果たされることになる。さらに、地域における寺社と民衆との関係を問うことで、宗教の存在を組み込んだ地域社会研究が行われるようになった。

かくして、近世仏教史・宗教史研究は、近世史研究の一つとしての地歩を築いていく。しかしながら、宗教について語る際に欠かせない思想面（教説

や信仰）については、支配思想と民衆との関係を考える上で儒学だけでなく仏教も分析対象に入れた研究や、真宗を主な対象に近世民衆の思想的特質の解明を目指した研究などの先駆的な成果は存在したものの、近世史研究とは分離するかたちで考察される傾向にあった。その流れに変化をもたらしたのは、書物による宗教知の流通への着目である。寺院・神社といった宗教施設や宗教者のもとには、宗教関係の書物を中心とした大量の蔵書が形成されることが多い。1990年代、17世紀初頭に誕生した商業出版に注目し、書物の出版・流通・受容過程を介して人々の思想や社会変容のあり方を探る研究手法が登場している。宗教史研究は、そうした手法による知見を活かし、様々な教説の内実とその伝播の様相を明らかにすることで、宗教知の流通が近世社会に与えた影響を検討するようになった。

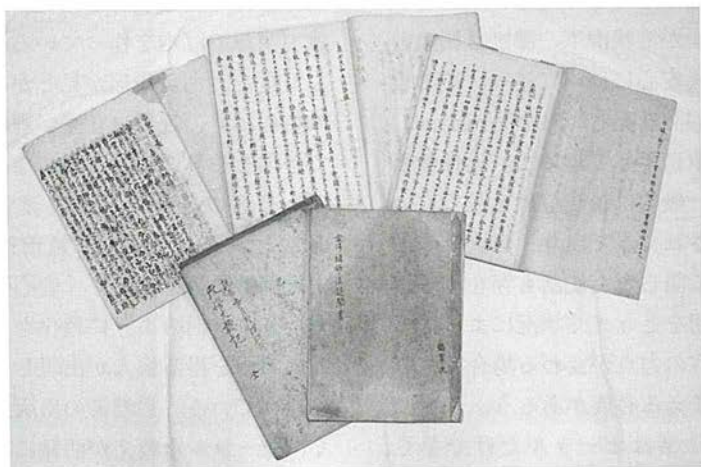
さて、私が近世真宗教団を研究対象として取り上げたきっかけは、大学学部時代に参加した史料調査（長野県清内路村。現阿智村清内路）で出会った、

漢字とカタカナが交ざった写本（講録）の存在である。講録には、真宗の教えを平易に語る僧侶の法話が記されており、全てではないものの、多くは話者の名前と、法話が開催された年月日・会場・筆記者名なども記載されている。話者には様々な僧侶の名前が確認できたが、よく目にした名前は「亀洲」であった。亀洲とは、越前国出身で、近世東本願寺の教学研究機関である学寮の講師（学寮のトップ）を務め、同教団の教学の大成者として位置づけられている香月院深^{こうがついんじんらい}励が用いた号である。

清内路村の宗派構成は真宗（2/3）と浄土宗（1/3）からなり、村内には真宗門徒の檀那寺である飯田善勝寺の道場として建立された清南寺が所在する。清南寺にも講録は所蔵されているが、門徒宅に伝来している史料群からも複数冊発見することができる。管見の限り、深励が同村に来訪した記録は

なく、門徒たちは講録を介して深励の法話を受容していたことになる。

講録の存在は、近世の僧侶が活発に民衆を教化していたことを示す。僧侶たちが教化した機会・場は、真宗の事例では本山で開催される宗祖親鸞の報恩講のほか、地域の末寺を統括するために各地に置かれた御坊、地方寺院や有力門徒宅、そして自坊が挙げられる。先に名前を挙げた深励は、12月から1月頃まで自坊のある越前国に帰っていたが、自坊滞在中および往復路において各地の寺院や門徒宅に立ち寄り、参集した僧侶に対して法話を披露していたことが彼の日記（大谷大学図書館蔵『講師寮日記』）から確認できる。また、深励の教化に対する門徒の関心も高く、文化5年（1808）2月12～13日、自坊から上洛する途中に立ち寄った美濃国養老町（現岐阜県養老郡養老町）養老寺では、深励が来訪することを知っ



講録（筆者架蔵）

た門徒が早朝から参集したため、急遽法話を行っている。

彼の法話には、当時、東西本願寺で問題となっていた異安心いあんじんに関する言及が多い。異安心とは、本山が正統とする教えとは異なる教説を指す用語である。ただし、キリスト教のように絶対的な正統があって、それに反する教義が異端として否定されるといったようなものではなかった。例えば西本願寺を揺るがす最大の異安心事件（三業惑乱さんごうわくらん）を引き起こした三業婦命説さんごうきみょうのように、本山では正統とされた教えが最終的に異安心として処断されるといったことも起きている。様々な要因が複雑に絡まりあって「正統」に揺らぎが生じることもあったのである。

深励が生きていた時代は、この三業惑乱が発生し、東本願寺にも影響を与えていた。また、東本願寺内部にも様々な異安心が発生しており、深励は学寮の講師としてその対応に明け暮れている。かかる状況下、深励は民衆教化の場で異安心について述べ、その教説の「誤謬」を糺し、本山の「正しい」教えを聴衆に示して歩いた。近世僧侶の教化は一般的に封建道徳を説くものだと説明されてきており、無論そのような目的で語られた法話も存在するが、当時の教団をとりまく状況によって語られる内容の力点が変わる場合もあることを踏まえる必要がある。

僧侶の法話はオーラルだけでなく、文字化されて講録として流通もしてい

た。先に清内路村の事例に触れたが、講録の伝播は各地で確認することができる。講録の奥書には伝播の過程が記されている場合があり、僧侶が留錫した寺院で書写したり、僧侶間で貸借・譲渡したりして伝播していた。また、僧侶が門徒に書写して渡すこともあった。オーラル・写本の両方で、教えが広がっていったことが見て取れよう。

一方で、こうした僧侶の語りの流通は、様々な摩擦や問題を引き起こした。例えば、文政元年（1818）に東本願寺の使僧・央坊が金沢御坊へ下向して教化をした際、一部の門徒が央坊の教化内容を直接批判し、問題となった。彼ら・彼女らは、以前同地に来訪した学寮講師宣明せんみょう（深励とともに講師職にあった）の法話を根拠に、央坊の教えには承服できないと述べている。

また、俗人に講録が出回ることを問題視する僧侶もいた。深励門下の越前国伊井村応連寺瓊林が門徒の依頼を受けて講録の写本を作っていると、来訪してきたとある僧侶が見とがめた。その僧侶曰く、近年は在家が理屈を覚えて僧侶をやりこめるようになっているが、それは講録を在家に渡すからであるという。さらに、越前国界隈では講師の法談を覚えて「安心書」を拵えたり、僧侶のように教化をして数百人の参詣を得る俗人が出現しているとも述べている。宗教書の出版だけでなく、オーラルな教えが活発に発信され、その教えが文字化されて流通した結果、

仏教知が専門家の独占するところではなくなり、俗人による参入を招くに至ったといえる。現代社会では、SNSの発達によって、専門家と市民とが直接やりとりできるようになった結果、専門知をめぐる「論争」がわき起こるようになって久しい。専門知の様々な媒体による広がりを受容、およびそれ

によって生じる混乱といった事象はある一定以上のリテラシー能力を持った階層のみが参入できることや、メディアのあり方そのものの違いはあるが—近世日本社会から発生していたといえるのかもしれない。

[表紙写真] 深励画像（永臨寺所蔵）

新刊ニュース

7・8月の新刊 *発売予定のものもあります

歴史一般 事典／年表・地図／歴史学・補助学

スーザン・サザーード著

ナガサキ

核戦争後の人生

四六判 464頁 3,800円

みすず書房 [7月刊]

原爆が炸裂した1945年8月9日、10代の若者だった「語り部」たちの同日同刻の詳細と苦難とともに生きのびた「長い戦後」を描く。

978-4-622-08818-9

考古学 概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

文化庁・東京文化財研究所編

特別史跡 高松塚古墳生物調査報告

国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策事業報告書2

A 4判 596頁 22,000円

同成社 [8月刊]

壁画劣化要因の微生物特定や使用された薬剤の効果など、精緻な記録と考察から成る生物対策の総括。今後の文化財保護に資する報告書。

978-4-88621-828-5

小笠原好彦著

検証 奈良の古代遺跡

古墳・王宮の謎をさぐる

A 5判 222頁 2,200円

吉川弘文館 [7月刊]

葛城や飛鳥の古墳、王宮跡など30遺跡を新説とともに紹介。考古学の研究成果に「記紀」などの記述をふまえ、新たな古代世界を描く。

978-4-642-08356-0

日本史 概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

米田雄介編

令和新修 歴代天皇・年号事典

四六判 464頁 1,900円

吉川弘文館 [8月刊]

令和元元に伴い待望の増補新修。神武天皇～今上天皇までを網羅し、略歴・事跡、各天皇の在位中に制定された年号等を収める。

978-4-642-08357-7

川畑忠著

尚 泰

最後の琉球王（日本史リブレット人 80）

A 5変型 104頁 800円

山川出版社 [7月刊]

琉球国中山王でありながら日本の華族となることを選択した尚泰。激動の東アジア情勢を体現するかのようその生涯を琉球処分という歴史過程の中で捉える。

978-4-634-54880-0

公益財団法人史学会編

復刻版 日本史概観

A 5判 376頁 1,800円

山川出版社 [7月刊]

昭和24～25年、史学会が高校生のために責任あるテキストとして刊行。戦後歴史教科書の原型を、当時の誌面内容そのままの完全復刻。

978-4-634-59303-9

佐藤信編

新版 図説歴史散歩事典

B 6変型 448頁 1,800円

山川出版社 [8月刊]

1979年の刊行以来、30万部発行のロングセラー『図説歴史散歩事典』を全面的に見直した改訂新版。文化財の見方をやさしく解説したハンディな1冊。

978-4-634-59119-6

木本好信著

藤原南家・北家官人の考察

(古代史研究叢書 13)

A 5判 230頁 4,900円

岩田書院 [8月刊]

前著『藤原北家・京家官人の考察』(岩田書院2015)の続。藤原四家の完結編。

978-4-86602-077-8

大橋信弥著

古代の地域支配と渡来人

A 5判 486頁 12,000円

吉川弘文館 [7月刊]

大和政権による地域支配の様相を、有力豪族と王権との関係、渡来人の役割などから考察。新出文字資料を駆使して支配構造に迫る。

978-4-642-04655-8

春名宏昭著

〈謀反〉の古代史

平安朝の政治改革 (歴史文化ライブラリー 487)

四六判 208頁 1,700円

吉川弘文館 [8月刊]

平安前期、充実した国政運営が進展する一方、承和の変をはじめ政変が頻発したのはなぜか。政治を動かす巨大エネルギーの実態に迫る。

978-4-642-05887-2

永井 晋著

鎌倉幕府の転換点

『吾妻鏡』を読みなおす (読みなおす日本史)

四六判 220頁 2,200円

吉川弘文館 [8月刊]

源平合戦、北条氏の権力確立などを年代順に辿り、『吾妻鏡』の記述と京都の公家・寺院の記録を比較検証。隠された史実に迫る。

978-4-642-07108-6

中根正人著

常陸大掾氏と中世後期の東国

(戦国史研究叢書 19)

A 5判 380頁 7,900円

岩田書院 [8月刊]

常陸国を中心に、中世後期の太田氏とその周辺の諸勢力の政治情勢を考察する。

978-4-86602-075-4

西沢淳男編

幕領代官・陣屋 データベース【増補改訂】

(Windows7/8.1/10) CD-ROM 1枚 3,000円 岩田書院 [8月刊]

978-4-86602-076-1

郡代・代官1262、陣屋209収録。西沢『幕領陣屋と代官支配』付録CDを増補改訂。

清水紘一編

江戸幕府と長崎政事

A 5判 364頁 8,900円

岩田書院 [8月刊]

長崎奉行の職務規程、軍事組織としての西国探題、漢籍耶蘇教書と禁書令、長崎湾内の砲台整備、宗門改役の成立と変遷、荷抜問題、等。

978-4-86602-078-5

田中洋平著

近世地方寺院経営史の研究

A 5判 258頁 10,000円

吉川弘文館 [8月刊]

関東地域の祈禱寺院・修験寺院・無住寺院を中心に、宗教・金融・土地集積など多様な活動を検討。地域社会と寺院経営との関係に迫る。

978-4-642-03496-8

水本邦彦著

海辺を行き交うお触れ書き

浦触の語る徳川情報網 (歴史文化ライブラリー 486)

四六判 288頁 1,800円

吉川弘文館 [7月刊]

江戸時代、国や藩の境を越えて届く、海運・海難に関するお触れ書き「浦触」。幕府の情報ネットワークと全国支配の実態に迫る。

978-4-642-05886-5

樋口雄彦著

幕末維新期の洋学と幕臣

(近代史研究叢書 23)

A 5判 404頁 8,800円

岩田書院 [8月刊]

博論『沼津兵学校の研究』以降の成果。開成所の洋学者／静岡藩と洋学／ほか。

978-4-86602-079-2

日本カメラ博物館監修

秘蔵古写真 江戸

菊 5判 256頁 1,800円

山川出版社 [8月刊]

日本カメラ博物館に残る江戸時代末期から明治初期の、江戸から東京へと移り変わる貴重な風景古写真を集約。今は亡き建物群の写真など圧巻。

978-4-634-15151-2

繁田真爾著

「悪」と統治の日本近代

道徳・宗教・監獄教訓

A 5判 375頁 5,000円

法蔵館 [7月刊]

近代日本の多様な「悪」の姿とそれへの対応を読み、フーコーの統治論に示唆を得た「自己の統治」の視座から近代日本と「悪」の葛藤を描く。

978-4-8318-5558-9

藤村一郎・後藤啓倫著

吉野作造と関東軍

満蒙権益をめぐる民本主義と統帥権の相克

四六判 320頁 2,600円

有志舎 [8月刊]

統帥権の独立により独自の政策を展開した関東軍と、民本主義の立場からそれを批判した政治学者・吉野作造との攻防。

978-4-908672-32-3

嶋村初吉著

九州のなかの朝鮮文化

日韓交流史の光と影

四六判 296頁 2,300円

明石書店 [7月刊]

秀吉の侵略と陶工ら技術者の拉致から朝鮮通信使に代表される文化交流まで、複雑な陰影を織りこんだ歴史の万華鏡から見えてくるものは。

978-4-7503-4862-9

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

岸本美緒著

1571年 銀の大流通と国家統合

歴史の転換期⑥

四六判 304頁 3,500円

山川出版社 [7月刊]

1571年前後での世界貿易の活発化は多くの地域で個性的なレスポンスを生み出した。この時代のテーマを東から西へ地球一巡するかたちで取り上げる。

978-4-634-44506-2

公益財団法人史学会編

復刻版 世界史概観

A 5判 360頁 1,800円

山川出版社 [7月刊]

昭和24～25年、史学会が高校生のために責任あるテキストとして刊行。戦後歴史教科書の原型を、当時の誌面内容そのままでの完全復刻。

978-4-634-64166-2

橋場弦・岸本美緒・小松久男・水島司監修

英文 詳説世界史 WORLD HISTORY for High School

A 5判 464頁予定 2,700円

山川出版社 [8月刊]

高校の教科書をもとに英訳。グローバル化がすすむ今日、諸外国の人々と歴史文化について語り合う際、ビジネスマンにも学生にも役立つ1冊。

978-4-634-64162-4

三国志学会監修

曹操

四六判 224＋口絵8頁 1,500円

山川出版社 [7月刊]

曹操の最新人物像を政治・経済・思想など14のテーマから解き明かす。昨年曹操の墓と確定したことが発表された曹操高陵についても検証。

978-4-634-15153-6

三国志の会編

三国志への招待

四六判 176頁 1,600円

山川出版社 [7月刊]

三国志ゆかりの地、遺物、遺跡などの豊富な写真や安野光雅氏の挿絵とともに、簡潔な説明によって読者を三国志の世界へと誘う1冊。

978-4-634-15154-3

尾形勇・岸本美緒編

中国史 上

(YAMAKAWA SELECTION)

B 6変型 336頁 1,200円

山川出版社 [7月刊]

『新版世界各国史3 中国史』のハンディ版。躍進する21世紀の中国を、歴史的視野にたつて見つめ直すための通史。下巻では新たに習近平政権を加筆。

978-4-634-42383-1

尾形勇・岸本美緒編

中国史 下

(YAMAKAWA SELECTION)

B 6変型 320頁 1,200円

山川出版社 [7月刊]

『新版世界各国史3 中国史』のハンディ版。躍進する21世紀の中国を、歴史的視野にたつて見つめ直すための通史。下巻では新たに習近平政権を加筆。

978-4-634-42384-8

李泳禧著

対話 韓国民主化運動の歴史

行動する知識人・李泳禧の回想
四六判 592頁 5,800円

明石書店 [8月刊]

行動するジャーナリスト・知識人である李泳禧が、自らの人生と言論活動を振り返り、韓国民主化運動の軌跡を辿る。

978-4-7503-4872-8

登利谷正人著

近代アフガニスタンの国家形成

(世界歴史叢書)
四六判 344頁 4,800円

明石書店 [8月刊]

アフガニスタンの輪郭を形成する要素である「近代」国家成立に関する歴史認識はどのように構築されたのか。膨大な史料をもとに分析。

978-4-7503-4830-8

佐藤清隆編著

The Life Story of Dr Dorothy Francis, MBE: An African-Caribbean Business Woman in Leicester

(Memory and Narrative Series 10)
B 5判 296頁 6,000円

刀水書房 [6月刊]

英国の多民族都市レスターで10年以上継続する聞き書きの最新巻。既刊詳細は弊社HP参照 (発行 Research Centre for the History of Religious and Cultural Diversity: Meiji University, Tokyo) 978-4-88708-911-2

池谷文夫著

神聖ローマ帝国

ドイツ王が支配した帝国 (世界史の鏡 国家7)
四六判 200頁 2,000円

刀水書房 [8月刊]

「神聖ローマ帝国」とは何か。中世後期以降の領邦国家体制や近代ドイツの統一問題と密接に関わる同帝国 (中世ドイツ帝国) の実体を探る。

978-4-88708-512-1

紀平英作編

アメリカ史 上

(YAMAKAWA SELECTION)
B 6変型 320頁 1,200円

山川出版社 [7月刊]

『新版世界各国史 24 アメリカ史』のハンディ版。最新のオバマ政権、トランプ政権の登場をも新たな視点で問いアメリカ史の新しい地平を目指す。

978-4-634-42381-7

紀平英作編

アメリカ史 下

(YAMAKAWA SELECTION)
B 6変型 272頁 1,200円

山川出版社 [7月刊]

『新版世界各国史 24 アメリカ史』のハンディ版。最新のオバマ政権、トランプ政権の登場をも新たな視点で問いアメリカ史の新しい地平を目指す。

978-4-634-42382-4

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教／
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

龍谷大学創立380周年記念書籍編集委員会編

時空を超えたメッセージ

龍谷の至宝
A 5判 208頁 1,500円

法蔵館 [7月刊]

龍谷大学所蔵の重文を含む貴重資料を100点にわたりオールカラーで紹介! 医学書から地球儀まで、多岐にわたる所蔵品の魅力に迫る。

978-4-8318-6255-6

五味文彦著

伝統文化

(日本の伝統文化①)
四六判 480頁 4,000円

山川出版社 [8月刊]

浮世絵、歌舞伎など日本文化の過程のなかで伝統文化とは何かを考える全6巻シリーズ。1巻では伝統文化の総論として、通底する「ものの考え方」を探る。

978-4-634-21301-2

川瀬一馬著

日本における書籍蒐蔵の歴史

(読みなおす日本史)
四六判 282頁 2,400円

吉川弘文館 [7月刊]

中世の金沢文庫、豊臣秀次・徳川家康・近世大名や文人の取書、近代の安田文庫や好事家の収集と現代に到るその蔵書の歴史をたどる。

978-4-642-07107-9

鈴木耕太郎著

牛頭天王信仰の中世

四六判 336頁 3,500円

法蔵館 [7月刊]

神でもなく仏でもなく、中世に突如として出現した牛頭天王。祇園社の祭神でもありササノヲとも習合した謎多き信仰世界を読み解く。

978-4-8318-6254-9

磯 弘信著

親鸞改名の研究

A 5判 530頁 13,000円

法蔵館 [6月刊]

978-4-8318-8769-6

親鸞が33歳の時に禪空から改名した名は従来「善信」とされてきたが、筆者は膨大な史料を駆使しそれが「親鸞」であることを解明する。

高嶋修一著

都市鉄道の技術社会史

四六判 232頁 2,500円

山川出版社 [7月刊]

978-4-634-59109-7

動力、車両などの技術から都市計画や交通調整まで、明治から昭和初期の東京都市圏での鉄道や軌道など交通機関の変遷と社会にもたらした変化について考える。

朝比奈英夫著

大伴家持研究

表現手法と歌巻編纂

A 5判 288頁 9,500円

塙書房 [7月刊]

978-4-8273-0132-8

大伴家持を研究対象として、表現手法と万葉集の編纂の両面から考察を加え、家持の文学的営為の実態を追究し、その真価を解明する。

小島憲之著

上代日本文学と中国文学 補篇

出典論を中心とする比較文学的考察

A 5判 628頁 27,000円

塙書房 [8月刊]

978-4-8273-0013-0

『上代日本文学と中国文学 上・中・下』により恩賜賞を受賞した後に発表された「万葉用字考証実例」などの学術的価値の高い論文を収載。

小川直之編

麦・雑穀と芋

(日本の食文化 3)

四六判 272頁 2,700円

吉川弘文館 [8月刊]

978-4-642-06838-3

麦・粟・稗などの雑穀と芋類、豆類は日々の食を支え、救荒食ともなった。食べ方や粉食から、多様な主食・常食のあり方を示す。

伝記

西本昌弘著

早良親王

(人物叢書 296)

四六判 288頁 2,200円

吉川弘文館 [8月刊]

978-4-642-05289-4

桓武天皇の皇太子。藤原種継暗殺事件に連座し死去。仏教面の業績や事件の真相を解明し、「怨霊」のイメージに隠れた人物像に迫る。

森 茂暁著

懷良親王

日にそへてのかれんとのみ思ふ身に (ミネルヴァ日本評伝選)

四六判 380頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [8月刊]

978-4-623-08741-9

後醍醐天皇の皇子として征西府将軍に任ぜられた懷良親王の生涯をたどると同時にそうした九州の中世の動静を描き出す。

倉地克直著

池田綱政

元禄時代を生きた岡山藩主

四六判 240頁 2,600円

吉川弘文館 [8月刊]

978-4-642-08359-1

岡山藩池田家の2代当主。明君の父光政と比較されたが大規模新田の開発など事蹟もある。時代に呼応した統治をすすめた人物像に迫る。

米原 謙著

山川 均

マルキシズム臭くないマルキストに (ミネルヴァ日本評伝選)

四六判 380頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [7月刊]

978-4-623-08669-6

日本において社会主義を育てた代表的理論家は、どのような思索を展開してきたのか。その足跡を辿る。

雑誌

日本歴史

日本歴史学会編集

8月号(第855) = 7月刊
9月号(第856) = 8月刊

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料 8,300 円 [税・送料込]

◆各種割引制度有

二年間前払い 16,000 円 [税・送料込]

三年間前払い 23,500 円 [税・送料込]

学生・院生 一年間 5,000 円 [税・送料込]

A 5 判 8月号 = 130 頁、9月号 = 130 頁
8月号 = 741 円、9月号 = 741 円

吉川弘文館 [7・8月刊]

歴史書以外の
人文社会図書新刊案内

2019. 7・8

明石書店

- チリを知るための60章 エリア・スタディーズ 細野昭雄・工藤章・桑山幹夫 編著……………四六判 2,000円 7月
- アルコールと酔っぱらいの地理学 秩序ある／なき空間を読み解く マーク・ジェイン、ほか
……………四六判 2,700円 7月
- ウェールズを知るための60章 エリア・スタディーズ 吉賀憲夫 編著……………四六判 2,000円 8月
- 近現代日本の「反知性主義」 天皇機関説事件からネット右翼まで 芝正身 著……………四六判 2,800円 8月
- ドイツの道徳教科書 世界の教科書シリーズ ロラント・ヴォルフガング・ヘンケ 編……………B 5判 2,800円 8月

法蔵館

- 岐路に立つ仏教寺院 曹洞宗宗勢総合調査2015年を中心に 相澤秀生・川又俊則 編
……………A 5判 3,000円 7月
- 貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究 楠 淳 證 著……………A 5判 13,000円 7月

歴史書懇話会とは

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在7社が加盟しています。結成以来50年、「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目的達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う。」(会規約)の精神に基づき活動しています。

〈歴史書懇話会〉の主な事業

◆「歴史書通信」(隔月刊)最新の歴史書情報を提供しています!

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購入を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

◆「歴史書ベストフェア」小規模書店にも本格派の歴史書を!

全国約90書店で会員社の歴史書40冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は120冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

◆「歴史リバイバル」復刊書フェアとしてご好評いただいています。

統一復刊・重版事業「歴史リバイバル」を実施しています。

一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、毎回100店近い書店・大学生協で店頭フェアを展開しています。

◆「ホームページ」&「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評情報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。

メール配信のお申込みは<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>からお願いします。

歴史書懇話会 会員社

明石書店・同成社・塙書房・法蔵館・
ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

歴史書懇話会 創立 50 周年記念事業報告

歴史書懇話会

代表幹事

春山晃宏 (吉川弘文館)

2018年、小会は1968年の創立より数え、50年という節目の年を迎えることができました。これは会員社の努力もさることながら、読者の皆様、著者の皆様、書店様、販売会社様に支えられての50年間であり、関係各位に深く感謝申し上げます。

小会の会則には、「本会は、すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進することを目的とする(第3条)」とあります。私たちは50周年という年にこの会則に相応しい活動をしたい、との思いから以下の3つの事業を周年事業として位置付け、2016年末より準備を続けてまいりました。

1. 書店担当者のスキルアップを目的とした、テキストの制作および活用
2. 同目的での販売研修会の開催(東西2会場)
3. 研究者、書店員より募った「読書アンケート」を掲載した『歴史書通信』特別号の刊行

これらの事業は関係各位のお力添えにより、それぞれにおいて大きな成果

を残すことができたと考えております。以下、事業ごとに構想・立案から製作・実施にいたるまでの経緯とその成果について報告いたします。

1. 岡村正純著『人文書担当者のための日本史概説(中世史中心)』の刊行

歴史書懇話会の「兄弟会」ともいえる人文会では、書店人文書担当者のスキルアップを目的とし、2011年10月に『人文書販売の手引き』、2015年10月に『同 第二版』を発行しています。同書は、「哲学・思想、心理、宗教、歴史、社会、教育、現代の批評・評論」の7分野において、はじめて人文書の棚に触れる書店担当者の基礎テキストとして、多くの支持を得ている一方、各分野とも「きほんのき」から丁寧にわかりやすく記述されているため、中堅の書店担当者からは「もう少し掘り下げた詳しいものが欲しい」という声を耳にすることもありました。

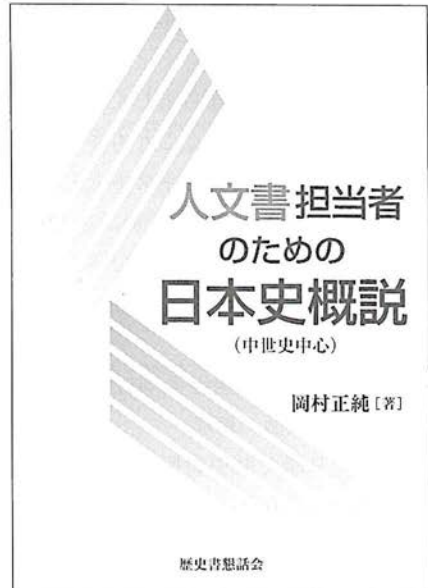
そこで歴史書懇話会では、ジュンク堂書店で人文書、とりわけ歴史書の担当者として多くの経験知を持ち、業界内での評価も高い岡村正純氏に執筆を

依頼し、「中堅の書店担当者に、売場で活かせる日本史の知識をつけていただく」ことをテーマに、1冊の本を製作することとしました。

ことの始まりは岡村氏が社内研修用に作成した数ページのレジュメでした。コンパクトにまとまったそれは、私たちが望んでいたテキストそのもので、偶然それを目にした私は即座に岡村氏へ電話をかけ、これを基にした中堅担当者向けのテキスト執筆を依頼しました。学生時代、歴史学を専攻されていた書店員は多くいらっしゃいますが、氏は社会人となってからも、日本中世史を中心に研究者並みの読書量をこなし、常に日本史研究のトレンドを把握しており、「研究史」についても間違いの無い記述が期待できるであろうことが、依頼の決め手でした。

とはいえ多忙な氏にとっては、面倒この上ない話であろうことから難渋されるかと思いきや、あっさりと快諾いただいたように記憶しています。そして数週間後、さっそく冒頭部分の「手書き原稿」が届き…編集作業上の労苦はここで語ってもしかたないのですが、丁々発止の楽しいやりとりでした。結果、約2年の月日が流れようとする頃、『人文書担当者のための日本史概説（中世史中心）』の初版1,000部が刷り上ってきました。

タイトルにあるように岡村氏の興味の中心は日本中世史ですが、同書は戦後歴史学前史から書き起こし、考古学、



『人文書担当者のための日本史概説』

古文書学、民俗学など周辺分野について一通りの解説がなされた後、本題の「日本史研究」に入ります。研究法の解説からはじまり、古代から現代まで、中世史の比率がやや高いものの、日本史の流れをおさらいしながら、書店の棚を作る上で必要な知識・考えるべきことが随所に織り込まれた本編は読み応え十分。巻末付録として、日本史に興味を持ってもらうためのブックガイド、ジュンク堂書店営業本部の喜田浩資氏による棚チャートを取録した、全168頁の力作です。

本書は全国主要書店の人文書担当者および業界関係各位へ寄贈させていただきましたが、噂を耳にした書店員、出版社、研究者、図書館司書など多くの方から「欲しい」という声が殺到し、

1ヶ月後には2刷1,000部が納品されることとなりました。

発行から約1年経ちましたが、いまだ寄贈依頼をいただくことも多く、書店担当者との研修会テキストとしても使用されており、歴史書懇話会50周年の事業に相応しい1冊ができたと自負しています。

2. 書店人文書担当者向けの販売研修会（大阪・東京）

日々売り場で歴史書販売の最前線を担っている書店担当者向けの販売研修会は、以前より小規模かつ不定期におこなわれていましたが、新しいテキスト（前記）を使用し大規模な研修会をおこなうこともまた、周年事業に相応しいとの意見から、大阪・東京の2会場での開催が決まりました。

大阪会場は2018年10月15日、ベ

テラン書店員の講師2名、西日本を中心に書店担当者45名、歴史書懇話会会員社16名、合計63名の会となりました。まず歴史書懇話会から春山が「歴史書販売における郷土書の売上シェアについて」と題し、仙台をモデルに郷土書販売の考え方および売上数値について話をしました。次に講師として前述の岡村氏より、「歴史書担当者に必要な基礎知識」「情報収集のテクニック」「郷土書の扱い」など実践的な講義がなされ、もう1名の講師である精文館書店の関剛士氏から、「精文館書店本店における歴史書販売の試み」として4年間20回におよぶ著者講演会、地域の文教施設と連動した売場づくりについて報告がありました。

11月26日におこなわれた東京会場での研修会は講師3名、東日本を中心に書店担当者60名、歴史書懇話会



販売研修会（東京会場）の様子

員社22名、業界紙記者2名の合計87名という規模で開催することができました。大阪会場での研修内容に加え、ジュンク堂書店営業本部の喜田浩資氏より「歴史書（日本史・民俗学・地域史）棚チャート」についての解説がなされ、より充実した研修会となりました。

両会場とも事前に書店の参加者よりアンケートを募り、疑問・質問にはできるだけ説明・回答を用意し、何かを持ち帰っていただけるよう努めました。研修会終了後にも再度アンケートを実施し、多くの好意的な感想や謝意をいただいたことで、会として大きな達成感を得ることができました。

多くの時間と労力・コストをかけた試みでしたが、有意義かつ成果の大きな事業となりました。

3. 読書アンケート掲載『歴史書通信』特別号の発行

歴史書懇話会の機関誌『歴史書通信』は1973年6月の創刊から数え、本号（2019年9月号）で通巻245号を迎える長寿誌です。同誌は会の周年や100号200号といった節目ごとに特集号・別冊を発行し、業界内外から評価を得てきました。今回は会の創立50周年ということで様々な特集企画が提案されましたが、1998年に小会の30周年記念として刊行された『歴史書通信別冊 歴史の愉しみ—古代から現代へ—』内で好評を博したと伝え聞く「読書アンケート」を240号（2018年11



『歴史書通信 240号』読書アンケート特集号

月号）本誌内特集とすることが決まりました。

会員社が分担し、日東西の歴史学のみならず、考古・美術・宗教など幅広い分野と世代の研究者はもちろん、史学を修めたのち書店店頭で活躍している書店員にもアンケートをお願いし、最終的に83名の方々から回答をいただくことができました。

アンケートの設問は、あえて20年前と同じ（その1＝直近2年間に出版された歴史書で特に印象に残ったもの2冊／その2＝これまで出会った歴史書の中で、「名著」として薦めるもの3冊）ものとししました。20年ぶりに同じ設問に答えてくださったベテランの先生や、「大学院生時代に20年前の読書アン

ケートを読んだ記憶があり、依頼を受け感激している」とまでおっしゃってくださった先生もいらしたことは、編集作業を進める上で大きな励みになりました。

この『歴史書通信 240号』は、2018年10月25日に無事発行されました。直後から好意的な感想を多く耳にしたことで、歴史書の未来に明るい光が差しているように感ぜられました。

おかげさまで、節目の年にこのような記念事業を成し遂げることができ、ご協力を賜った関係各位には感謝を申し上げるほかありません。ありがとう

ございました。

歴史書懇話会は50年の間、多くの方々に支えられ活動を続けてきました。これからも、会の役割・存在意義について会員各社と話し合いながら、求められる歴史書懇話会像を追究していきます。

私たち会員社は、事業を成功させた達成感よりも、実は安堵感のほうがはるかに大きいのです。それは長い間努力を惜しまず、歴史書懇話会を育ててこられた会員社の先輩方に「これでどうやら怒られずに済みそうである」という安堵なのだろうと思っています。

2019年盛夏

歴史系学会・シンポジウム開催情報

古代出雲文化シンポジウム 出雲と大和ーヤマト王権成立前夜ー

会期 = 2019年8月31日 14:00開会、17:30閉会予定 会場 = 有楽町朝日ホール*
◆問合せ = HP をご確認ください ◆申込方法 = HP の参加申込フォームより申込 ◆HP = 詳細あり

教育史学会 第63回大会

会期 = 2019年9月28日～29日 会場 = 静岡大学 静岡キャンパス
◆問合せ(大会準備委員会)info@jshse63.jp ◆HP = 詳細あり

2019年度 日本史研究会大会

会期 = 2019年10月12日～13日 会場 = 龍谷大学 大宮キャンパス*
◆問合せ(日本史研究会事務局)jimu@nihonshiken.jp ◆HP = 詳細あり

日本民俗学会 第71回年会

会期 = 2019年10月12日～13日 会場 = 筑波大学 春日キャンパス
◆問合せ(年会実行委員会)minzokugaku2019tsukuba@gmail.com ◆HP = 詳細あり

第97回 経済史研究会 近代中国の経済と日本(仮)

会期 = 2019年10月19日 会場 = 大阪経済大学
◆問合せ(日本経済史研究所)nikkeisi@osaka-ue.ac.jp ◆申込方法 = メールにて ◆HP = 詳細あり

地方史研究協議会 第70回(京都)大会

会期 = 2019年10月19日～20日 会場 = 同志社大学 今出川キャンパス*
◆問合せ(地方史研究協議会事務局)chihoshi@muhi.biglobe.ne.jp ◆HP = 詳細あり

日本考古学協会 2019年度岡山大会

会期 = 2019年10月26日～27日 会場 = 岡山大学 津島キャンパス*
◆問合せ = (大会実行委員会)kyoukai.okayama@gmail.com ◆HP = 詳細あり

第29回 神保町ブックフェスティバル

ちょっと汚れておりますが…「本」の得々市バーゲンセール
会期 = 2019年10月26日～27日 会場 = 神保町すずらん通り*
◆問合せ(神保町ブックフェスティバル実行委員会) 電話 03-3291-5185

東方学会 2019年度秋季学術大会

会期 = 2019年11月9日 会場 = 日本教育会館(千代田区一ツ橋)
◆問合せ(東方学会事務局)iec@tohogakkai.com ◆参加方法 = メール・FAXで10月31日までに申込み ◆HP = 詳細あり

史学会 第117回大会

会期 = 2019年11月9日～10日 会場 = 東京大学 本郷キャンパス*
◆問合せ(史学会事務局)shigaku@l.u-tokyo.ac.jp ◆HP = 詳細あり

*印の会場では、歴史書懇話会による出張書籍販売がございます。

残暑お見舞い申し上げます！

- ◆東京オリンピックまで、あと1年を切りました。放映中のNHK大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺～」は、大河としては見慣れない時代ゆえか、視聴率的には苦戦といわれています。来年の大河はというと、鉄板の人気を誇る戦国モノだそうです。「麒麟がくる」というタイトルで主人公が明智光秀。明智光秀といえば本能寺の変、本能寺の変といえば織田信長。信長は、“抱かれない男―歴史上の人物編”の番付でいえば、それはもう堂々の東の横綱ですから、渋谷の方角から「視聴率、視聴率……」という念仏が聞こえてきそうですが、歴史ネタが盛り上がるのは何であれ大歓迎です。ちなみに西の横綱は源義経(牛若丸)で、東西の大関が土方歳三と上杉謙信だそうな(諸説あり)。義経がイケメンとか、どういう史料的根拠があるんだろうと首をかしげたくりますが、そういう歴史への視点もまた一興です。
- ◆終戦から74回目の夏を迎えます。混迷する日韓関係は和解の糸口も見えず、戦争の残した傷跡の、そして長い歴史の中で形作られてきた感情のもつれの、解決の困難さを否応なしに突きつけてきます。総理の謝罪で注目されたハンセン病の迫害の歴史も、令和の時代になってさえ、その実像は広く認知されていません。また、先日の参院選は投票率が50%を割り込み、どこが大勝でどこが大敗とも聞こえてこず、なんとなく選挙前と変わらない政治がなんとなくつづくのね、という雰囲気しか伝わってこない、全体的には盛り上がりの欠けた、みんなあんまり政治に関心ないんだなあ、ということを確認しただけの選挙でした。安倍総理の自民党総裁の任期は再来年の9月頃まであるんだそうで、なにもなければ近代議会政治成立以降、歴代ダントツの長期政権だった、ということになるようです。古今東西、似たような話、似たような時代が、あったのではなかったか。歴史を緋き過去に学び、個々が理解を深め、より良い未来を選択する気になる方が一人でも増えるよう、これからも魅力ある歴史書の刊行に勤しんでまいります。
- ◆月代わりで開催されている連続ミニフェア「歴史書懇話会・今月のオススメ」では、会員社のオススメする旬な歴史書を展開しています。現在は次の5書店で開催しています(かっこ内はフェア開始の日付)。◇天童市 TENDO 八文字屋(2006年7月～) / ◇新潟紀伊國屋書店新潟店(2007年8月～) ◇松江市今井書店グループセンター店(2008年6月～) / ◇大阪市喜久屋書店阿倍野店(2013年11月～) / ◇出雲市今井書店出雲店(2014年7月～)。
- ◆残念なご報告をしなければなりません。去る2019年6月28日、歴史書懇話会の総会が開催され、長く活動を共にしてきた東京堂出版および刀水書房の退会が決議されました。7月からは7社体制で新たな半世紀へと歩を進めます(くしくも50年前・創設時と同じ会員社数です)が、会員一丸となり、これまで以上に歴史書の普及と販売を積極的に推進してまいります。

(RKC)

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

明石書店	http://www.akashi.co.jp/
同成社	http://www.douseisha.co.jp/
塙書房	http://rr2.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	https://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

ここから戦後の「山川」高校歴史教科書が始まった!

復刻版

日本史概観

A5判 376頁
本体1800円

戦後の歴史教科書の原型を完全復刻!

復刻版

世界史概観

A5判 360頁
本体1800円

公益財団法人史学会編

日本史概観

著者 尾形勇
発行 史学会

戦後の歴史教科書の原型を完全復刻!

世界史概観

著者 尾形勇
発行 史学会

戦後の歴史教科書の原型を完全復刻!

戦後に新制高等学校の社会科が発足し、史学会が高校生のために編集した概説書。昭和24年に『世界史概観』を、翌昭和25年に『日本史概観』を刊行した。歴史教育史における重要な資料と考え、表現は当時のまま、紙面を拡大し、復刻版として刊行。

シリーズ日本の伝統文化 《全6巻》

浮世絵・歌舞伎・相撲・茶や花・武道などに代表する日本文化の、生成・継承・変容の過程を追いながら、伝統文化とは何か考えうるシリーズ。

① 伝統文化

五味文彦著
四六判 496頁
本体4000円

シリーズの総論。日本文化の基層となる古代の宗教や和歌の世界にはじまり、宮廷文化・武家社会において家や型が形成された中世、それらが大成する近世までを描き、そこに通底する「もの考え方」を探る。

山川セレクション創刊!

アメリカ史 上・下

紀平英作編

『新版世界各国史24 アメリカ史』をハンディ版の上・下巻に改め刊行。最新のオバマ政権、そしてトランプ政権の登場をも新たな歴史の視点で問い、アメリカ史の新しい地平を目指す。下巻には新たに終章を加筆。

B6変型判 上巻320頁・下巻272頁 各本体1200円

中国史 上・下

尾形勇・岸本美緒編

『新版世界各国史3 中国史』をハンディ版の上・下巻に改め刊行。躍進する21世紀の中国を、歴史的視野にたつて見つめ直すための通史。下巻では習近平政権を新たに加筆。

B6変型判 上巻336頁・下巻320頁 各本体1200円

歴史の転換期 ⑥

1571年

銀の大流通と
国家統合

岸本美緒編 1571年前後にみられる世界貿易の活発化は、多くの地域において、さまざまな反応を引き出した。この時代の特徴を描き出すいくつかのテーマを、東から西へ地球を一巡するかたちで取りあげる。

四六判 304頁 本体3500円

日本史リブレット人 ⑧0

尚泰

最後の琉球王

川畑 恵著 琉球国中山王でありながら、日本の華族となることを選択した尚泰。激動の東アジア情勢を体現するかのようなその生涯を、琉球処分という歴史過程のなかで捉える。

A5変型判 104頁 本体800円



山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13
電話 03-3293-8131 <https://www.yamakawa.co.jp/>

【価格は税別】

早良親王さわら

(人物叢書29)

西本昌弘著
2200円

東大寺で出家後、兄の桓武天皇の即位で還俗し皇太子となる。藤原種継暗殺事件に連座し死去。崇りを恐れた桓武により異例の待遇を受ける。事件の真相などを解明し、「怨霊」のイメージに隠れた人物像に迫る。

文字文化のひろがり

東国・甲斐からよむ

平川 南著 木簡、漆紙文書や碑文のさまざまな文字。戸籍などの公文書にみる文字の権威や、現代にも残る祈り、まじないの原像など、甦った文字資料が豊かな古代社会を語る。(新しい古代史へ) 2500円

〈謀反〉の古代史

平安朝の政治改革
(歴史文化ライブラリー187)

春名宏昭著 平安前期、充実した国政運営が進展する一方、政変が頻発したのはなぜか。有能な官僚による「良吏政治」の下で変質する天皇のあり方等から、政治を動かす巨大エネルギーの実態に迫る。1700円

鎌倉幕府の転換点

「吾妻鏡」を
読みなおす

永井 晋著 源平合戦、御家人の抗争、北条氏の権力確立などを年代順に辿り、「吾妻鏡」の記述と京都の公家・寺院の記録を比較検証。何が事実であったのかを読み解く。(読みなおす日本史) 2200円

最も精確で信頼できる「天皇事典」

令和改元に伴い、新項目を増補した決定版!

〔内容案内〕呈

令和改元に伴い、待望の増補新修。神武天皇から今上天皇までを網羅し、略歴・事跡などを平易に解説する。没後に天皇号を贈られた追尊天皇、皇位につかず太上天皇号を贈られた不即位太上天皇まで取め、各天皇の在位中に制定された年号や埋葬された陵も記載。皇室典範特例法による退位と即位を巻頭総論に加え、天皇・皇室の関連法令など付録も充実。

米田雄介編

令和改元に伴い、待望の増補新修。神武天皇から今上天皇までを網羅し、略歴・事跡などを平易に解説する。没後に天皇号を贈られた追尊天皇、皇位につかず太上天皇号を贈られた不即位太上天皇まで取め、各天皇の在位中に制定された年号や埋葬された陵も記載。皇室典範特例法による退位と即位を巻頭総論に加え、天皇・皇室の関連法令など付録も充実。

1900円



池田綱政

元禄時代を生きた岡山藩主

倉地克直著
2600円

明君と知られた父光政と比較され、きびしい評価を受けてきた岡山藩池田家の二代目当主。だが実際は大規模新田の開発や、閉谷学校の整備などの事蹟もある。時代に呼応した統治をすすめた人物像に迫る。

麦・雑穀と芋

(日本の食文化3)

小川直之編
2700円

麦・粟・稗などの雑穀と芋類、豆類は日々の食を支え、救荒食ともなった。地方色豊かな食べ方、麺類やオヤキなどの粉食から、多様な主食・常食のあり方を示す。大豆の加工品である納豆と豆腐も取り上げる。

近世地方寺院経営史の研究

田中洋平著
10000円

食べ物の民俗考古学

木の実と調理道具

名久井文明著
4500円

生活道具の民俗考古学

籾・廢物、木割り・榎土器

名久井文明著
4500円

「大化」から「令和」まで!

事典 日本の年号

小倉慈司著

2600円

〔内容案内〕呈 二四八すべての年号を網羅し、分かりやすく紹介する。年号ごとに在位した天皇、改元理由、年号字の典拠や調みを解説した決定版。

吉川弘文館

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8
電話 03-3813-9151(代表)

PR誌『本郷』見本誌送呈
FAX 03-3812-3544/価格に税別です

歴史書懇話会

▶会員社名簿◀

明石書店

101-0021 千代田区外神田 6-9-5 (担当者: 深谷直樹)
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1174

同成社

102-0072 千代田区飯田橋 4-4-8 (担当者: 工藤龍平)
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466

塙書房

113-0033 文京区本郷 6-8-16 (担当者: 関口守俊)
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617

法藏館

600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 (担当者: 西村明高)
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458

ミネルヴァ書房

[本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0062 千代田区神田駿河台 3-6-1 菱和ビルディング 2F
TEL.03-3525-8460 FAX.03-3525-8461 (担当者: 青柳英孝)

山川出版社

101-0047 千代田区内神田 1-13-13 (担当者: 田村 裕)
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994

吉川弘文館

113-0033 文京区本郷 7-2-8 (担当者: 春山晃宏)
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2019年9月1日発行・第245号

発行 **歴史書懇話会**

113-0033 文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店